

<p>Yori Dori Midori <small>よりどりみどりねりま</small></p>	<p>年越しそばならぬ、 <small>そばぐいじぞう</small> 「蕎麦喰地蔵」を紹介！</p>
<p>ところ</p>	<p>浄土宗 田島山 九品院(練馬4-25-1) (西武豊島線豊島園駅から徒歩4分)</p>
<p>区内にある浄土宗の寺院群「田島山十一ヶ寺」のうちのひとつである九品院<small>くほんいん</small>には「蕎麦喰地蔵」が祀られています。 これは、昔から願をかける時、または願が成就した時には、御礼として蕎麦を供養するという習わしがありました。この習わしの始まりが、蕎麦喰地蔵です。 今でも九品院では、蕎麦喰地蔵のイベントが開催されています。</p>	

【蕎麦喰地蔵とは】(九品院HPから引用)

蕎麦屋「尾張屋」の主人が、西慶院のお地蔵様へ蕎麦を供え、祈願することを怠らなかったそうです。するとある年、江戸に悪疫が流行し、多くの人へ被害が出たのですが、尾張屋一家はみな無事息災だったそうです。ここから「延命蕎麦喰い地蔵尊」と名付けられ、現在に至ります。

■蕎麦喰地蔵のおはなしやイベントについては

こちらから

九品院HP <http://kuhonin.jp/sobakui/>



▲蕎麦喰地蔵



【田島山 十一ヶ寺とは】(田島山十一ヶ寺 浄土宗 林宗院HPから引用)

元は浄土宗誓願寺せいがんじの塔頭寺院でしたが、その誓願寺は北条氏から与えられた小田原に地に造営され、北条氏が滅びた後、徳川家康により江戸に招かれ神田に移りました。このころ、誓願寺の塔頭として現在の十一ヶ寺を構成する寺も続々と開山したのです。

明暦の大火(いわゆる振袖火事)により全焼し、今度は浅草の田島町(現台東区)に移転、明治期には廃仏毀釈により本坊が存続の危機に直面しました。

そして1923年、関東大震災で被災し、またしても移転を余儀なくされたのです。震災後、本寺の誓願寺は現在の府中市の多磨霊園の正門近くへ、一方塔頭のうち十一寺が練馬に移転しました。移転前の地、浅草田島町の地名から、田島山十一ヶ寺と呼ばれるようになりました。



▲地蔵の近くにある蕎麦喰羅漢

【問い合わせ】

●練馬区の文化事業に関すること

練馬区 文化・生涯学習課 伝統文化係 03-5984-2442

●「蕎麦喰地蔵」などに関すること

浄土宗 田島山 九品院 03-3991-0310